

【今後の課題・改善目標について 2023 年度】

■環境・体制整備

・送迎の内製化によって、様々な職員が送迎にかかわっている。半面、保護者によっては大変そうにうつっているようである。人の入れ替わりが目立つと、事業運営・職員体制に不安を感じる方々も出るかもしれない。

■適切な支援の提供

・コロナ感染症への危機感が低くなるにつれて、外出などかつてのような活動内容への期待が高まっているように感じられる。利用者が楽しめる内容をあらためて検討していく必要がある。外出や調理などコロナ感染症対策として注視していた活動への期待も高まっていると感じる。

■関係機関や保護者との連携

- ・毎年、診療情報提供書の提出を保護者にお願いしている。それをもとに、連携を取るようになっている。
- ・就学前施設に話をきくなど、本人の様子を知るように努めている。

■保護者への説明責任等

- ・就労している保護者が多いため、年に1回くらい集まるとよいのではとの意見をいただきました。
- ・のびのびの様子を見学できる日を開催してほしいとの意見をいただきました。

■非常時等の対応

・避難訓練を年に2回ほど行いました。その都度、のびのびだよりにてお知らせしてきたつもりですが、わかりづらかったのかもしれない。引き続き、周知に努めます。

■満足度

・職員の対応がよいあるいは丁寧に見ていただき、本人も楽しく過ごしている等のご意見も頂戴し、評価をしていただけている。保護者の皆様の温かな評価に甘んじることなく、支援の質を向上していきたい。